

公益財団法人日本アレルギー協会 平成27年度事業概要報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

本 部

(敬称略)

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究助成事業</p> <p>1. 自由課題研究助成</p> <p>(1) バラ科果物アレルギーの病態および抗原解析</p> <p>(2) 「鼻炎合併喘息患者におけるQOLに関する観察研究」</p> <p>2. 国際交流基金による助成金交付</p> <p>3. 真鍋奨学助成</p>	<p>近藤康人 (藤田保健衛生大学) 研究期間：平成26年10月～29年9月</p> <p>大田 健 (国立病院機構東京病院) 研究期間：25年12月～27年12月</p> <p>日本人の海外での研究発表等、外国人の日本での研究発表、講演に対して交付 1年に2回審査しており下記6名に対して助成金を交付</p> <p>平成27年度前期申請 鈴木勇三 (磐田市立総合病院 / 浜松医科大学第二内科) 古賀晋一郎 (東京警察病院内科)</p> <p>平成27年度後期申請 加畑宏樹 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) 雨貝洋介 (東京バイオマーカー・イノベーション技術研究組合) 坂井健二 (金沢大学附属病院神経内科) 佐藤ゆき (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)</p> <p>平成27年11月18日(水) 運営委員会開催 第5回応募者20名の中から下記3名の研究者に受賞決定 神田 晃 (関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 「ヒトiPS細胞からの好酸球誘導法の確立とその臨床応用への展望」 金澤 博 (大阪市立大学大学院医学研究科呼吸器内科学) 「気道の老化反応から見た難治性喘息の病態解明と新規治療戦略の確立」 川島博人 (千葉大学大学院薬学研究院・微生物薬品化学研究室) 「制御性T細胞の体内動態制御に基づく新規アレルギー疾患治療法の開発」</p>
<p>II. 研修会事業</p> <p>(1) 賛助会員向け研修会 日時：平成28年3月4日(金) 場所：東医健保会館 参加人数：31名</p>	<p>主題：アレルギー疾患の研究・診療における最近のトピックス 開会挨拶：宮本昭正 (日本アレルギー協会) 座長：宮本昭正 (日本アレルギー協会) 講演：長瀬洋之 (帝京大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー学) 「喘息における分子標的治療の現状と未来」 講演：荒川浩一 (群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野) 「小児重症喘息の病態と対策」 座長：土橋邦生 (日本アレルギー協会研修担当) 講演：放生雅章 (国立国際医療研究センター第二呼吸器内科) 「好酸球性副鼻腔炎と喘息」 講演：堀江健夫 (日本赤十字社前橋赤十字病院呼吸器内科) 「閉塞性肺疾患における吸入療法と医療連携」 閉会挨拶：土橋邦生 (日本アレルギー協会研修担当)</p>

実 施 事 業	概 要
<p>Ⅲ. 啓発活動事業</p> <p>(1) 第 22 回アレルギー週間</p> <p>①期間</p> <p>②企画</p> <p>③後援</p> <p>④広報</p> <p>(2) アレルギー週間中央講演会 日時：平成 28 年 2 月 21 日（日） 場所：よみうり大手町ホール 参加人数：347 名</p> <p>(3) 「Allergy Today」発行</p> <p>(4) 患者相談協力専門医等名簿発行</p> <p>(5) 専門医等紹介事業</p>	<p>平成 28 年 2 月 17 日（水）～23 日（火）</p> <p>1) 統一標語：「アレルギーの克服に向けて」</p> <p>2) アレルギー週間行事等</p> <p>3) 本部・支部啓発活動</p> <p>厚生労働省、(公社) 日本医師会、(一社) 日本アレルギー学会</p> <p>1) 本部・支部の講演会、医療相談会等の行事紹介 読売新聞全国版：平成 28 年 2 月 7 日（日）</p> <p>2) 協会ホームページ、メディアによる啓発報道</p> <p>テーマ：「アレルギー疾患治療の最前線」</p> <p>主催：(公財) 日本アレルギー協会、(独) 環境再生保全機構</p> <p>後援：厚生労働省、環境省、東京都、(公社) 日本医師会、 (一社) 日本アレルギー学会</p> <p>総合司会：宮本昭正（日本アレルギー協会理事長）</p> <p>講演：赤澤 晃（東京都立小児総合医療センターアレルギー科 部長）</p> <p>「食物アレルギーー日常の対応と学校給食への準備ー」 片岡葉子（大阪府立病院機構大阪府立呼吸器・アレルギー 医療センター皮膚科主任部長）</p> <p>「アトピー性皮膚炎ーなぜおきる？なぜひどくなる？：病 気理解と治療のコツー」 勝沼俊雄（東京慈恵会医科大学第三病院小児科診療部長・ 准教授）</p> <p>「小児気管支ぜん息ーこどもの喘息～見分け方と最新の対 処法ー」 長瀬隆英（東京大学医学部附属病院呼吸器内科教授）</p> <p>「成人気管支喘息と COPDー治療と自己管理についてー」</p> <p>パネルディスカッション：総合司会、各演者</p> <p>アレルギー疾患を持つ患者およびその家族を対象としたニュース レターを患者会、個人会員、賛助会員等に年 4 回発行・配布</p> <p>発行を 2 年に 1 度として平成 27 年度は発行せず、平成 28 年度 発行予定</p> <p>患者からの電話による問い合わせに対して専門医等を紹介</p>
<p>Ⅳ. 学術情報活動事業</p> <p>(1) 機関誌「アレルギー」No.43 発行</p> <p>(2) 「info Allergy」発行</p>	<p>平成 27 年 5 月 6,000 部発行、日本アレルギー学会専門医、正会 員、賛助会員等に配布</p> <p>アレルギー疾患の治療に携わる専門医、一般医、コメディカル、 正会員、賛助会員向けに年 4 回発行・配布</p>
<p>Ⅴ. 広報活動事業</p>	<p>JAANet Station の名称でホームページでの情報提供</p>
<p>Ⅵ. 受託抗原輸入代行業</p>	<p>研究目的のため、研究者の要請に基づき抗原の輸入代行</p>
<p>Ⅶ. 会議の開催</p>	<p>第 1 回理事会 平成 27 年 5 月 28 日（木）</p> <p>第 1 回評議員会 平成 27 年 6 月 19 日（金）</p> <p>第 2 回理事会 平成 28 年 2 月 26 日（金）</p> <p>第 2 回評議員会 平成 28 年 3 月 18 日（金）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究助成事業</p> <p>1. 自由課題研究助成</p> <p>(1) 「生物学的製剤使用中の関節リウマチに対する全身 Magnetic Resonance Imaging の有用性」</p> <p>(2) 「関節リウマチに対するトシリズマブ休薬後の寛解維持予測因子」</p> <p>(3) 「関節リウマチ患者の肺合併症の予後予測因子」</p> <p>(4) 「効率よい抗リン脂質抗体症候群の診断のための非クライテリア抗リン脂質抗体検査の有用性」</p> <p>(5) 「原発性免疫不全症の病態解明」</p> <p>2. 学術交流研究助成</p> <p>(1) 第 31 回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会 日時：平成 27 年 6 月 20 日～6 月 21 日 場所：オホーツク・文化交流センター 参加人数：763 名</p>	<p>小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 27 年 5 月～平成 28 年 4 月</p> <p>小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 27 年 5 月～平成 28 年 4 月</p> <p>小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 27 年 7 月～平成 28 年 6 月</p> <p>小池隆夫（NTT 東日本札幌病院） 研究期間：平成 27 年 11 月～平成 28 年 10 月</p> <p>有賀 正（北海道大学医学部小児科） 研究期間：平成 27 年 12 月～平成 28 年 11 月</p> <p>会長：川嶋利瑞（網走皮膚科クリニック）</p>
<p>II. 研究会事業</p> <p>(1) 第 5 回北海道緑内障ぶどう膜炎セミナー（後援） 日時：平成 27 年 5 月 22 日 場所：京王プラザホテル札幌 参加人数：32 名</p> <p>(2) 第 6 回北海道免疫不全症研究会（後援） 日時：平成 27 年 6 月 20 日 場所：東京ドームホテル札幌 参加人数：25 名</p> <p>(3) 第 19 回北海道アレルギー研究会（共催） 日時：平成 27 年 6 月 27 日 場所：京王プラザホテル札幌 参加人数：59 名</p> <p>(4) 第 24 回札幌臨床免疫アレルギーの集い（共催） 日時：平成 27 年 7 月 8 日 場所：札幌医科大学 臨床第一講義室 参加人数：60 名</p> <p>(5) 第 28 回北海道小児リウマチ性疾患研究会（共催） 日時：平成 28 年 2 月 13 日 場所：京王プラザホテル札幌 参加人数：39 名</p>	<p>教育講演：「Triggerfish による睡眠時無呼吸症候群患の睡眠中の眼圧測定」 新明康弘（北海道大学眼科）</p> <p>特別講演：「ぶどう膜炎診療の up to date- わかったこと、まだわからないこと -」 竹内 大（防衛医科大学眼科学講座）</p> <p>一般演題：3 題 特別講演：「成育が取り組む免疫不全症の新たな治療法」 小野寺雅史（成育医療センター成育遺伝研究部）</p> <p>一般演題 4 題 特別講演：「アレルギー特異的免疫療法について」 増山敬祐（山梨大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）</p> <p>一般演題 2 題 特別講演：「好酸球アップデート：バイオマーカーからリモデリングまで」 藤澤隆夫（国立病院機構三重病院）</p> <p>一般演題 4 題 特別講演：「膠原病に合併する肺病変について - 膠原病肺、薬剤性肺炎、感染症 -」 藤田次郎（琉球大学医学部附属病院病院長）</p>

実施事業	概要
Ⅲ. 啓発活動事業 第 21 回アレルギー週間事業 (1) 函館地区 (主催) 日時：平成 27 年 4 月 4 日 場所：函館市民会館 小ホール 参加人数：31 名 (2) 札幌地区 (主催) 日時：平成 27 年 4 月 11 日 場所：札幌市医師会館 大ホール 参加人数：80 名 (3) 旭川地区 (主催) 日時：平成 27 年 5 月 16 日 場所：旭川北洋ビル 大ホール 参加人数：73 名 (4) 帯広地区 (主催) 日時：平成 27 年 5 月 16 日 場所：とかちプラザ 講習室 参加人数：60 名	世話人：山田 豊 (函館中央病院小児科) 内容：講演と医療相談 講師：岸田 真 (函館中央病院小児科) 昌原英隆 (江口眼科病院) 世話人：今野 哲 (北海道大学呼吸器内科) 中丸裕爾 (北海道大学耳鼻咽喉科) 内容：講演と医療相談 講師：鈴木正宣 (北海道大学耳鼻咽喉科) 澄川靖之 (札幌医科大学附属病院皮膚科) 伊佐田朗 (北海道大学病院第一内科) 渡辺 徹 (わたなべ小児科・アレルギー科クリニック) 世話人：大崎能伸 (旭川医科大学呼吸器センター) 内容：講演と医療相談 講師：花田一臣 (旭川医科大学眼科) 遠藤哲史 (旭川厚生病院呼吸器科) 坂井博之 (市立旭川病院皮膚科) 世話人：高村 圭 (帯広厚生病院第一内科) 内容：講演 講師：高村 圭 (帯広厚生病院第一内科) 中丸裕爾 (北海道大学耳鼻咽喉科)
Ⅳ. 会議の開催 支部幹事会	日時：平成 28 年 1 月 15 日 (金) 場所：JR タワーホテル日航札幌

東北支部 (支部長 山内広平)

(敬称略)

実施事業	概要
Ⅰ. 研究会事業 実地医家向け研究会 (1) 第 29 回東北小児喘息アレルギー研究会 日時：平成 27 年 6 月 7 日 会場：山形国際ホテル 参加人数：119 名	【一般演題Ⅰ】 座長：森川みき (森川小児科アレルギー科クリニック) 演者：武田美由紀 (JR 仙台病院栄養管理室) 「牛乳アレルギー児の代替食品の有用性について」 演者：米内志穂 (宮城県立こども病院) 「当院における小児アトピー性皮膚炎スキンケア教育入院の有用性」 演者：本間信夫 (米沢市立病院小児科) 「当院における食物アレルギー患者の皮膚状態の検討」 演者：本間恵美 (米沢市立病院小児科) 「米沢市における食物アレルギーとアナフィラキシーへの取り組み」 演者：三井直弥 (三井病院小児科) 「食物アレルギーのある帰国子女の編入学を経験して」

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 第 49 回東北アレルギー懇話会 日時：平成 27 年 7 月 4 日 会場：第一会館（本館） 参加人数：52 名</p>	<p>【一般演題Ⅱ】 座長：岡田昌彦（岡田こどもクリニック） 演者：齋藤秀憲（宮城県立こども病院総合診療科） 「食物負荷試験における加熱卵白量と卵白特異的 IgE 値の検討」 演者：佐々木美香（もりおかこども病院小児科） 「もりおかこども病院における食物負荷試験のまとめ （2014 年 6 月～2015 年 2 月）」 演者：渡辺圭介（由利組合総合病院小児科） 「短期間で 3 度アナフィラキシーを起こした多項目食物 アレルギーの 1 例」 演者：前田 亮（大原総合病院小児科） 「当科で経験した新生児・乳児消化管アレルギー例の検討」</p> <p>【特別講演Ⅰ】 座長：清水敏行（山形市立病院済生館） 講演：赤澤 晃（東京都立小児総合医療センター小児科） 「学校・保育所等での食物アレルギー研修をどのように 展開していくか」</p> <p>【特別講演Ⅱ】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院） 講演：藤澤隆夫（国立病院機構三重病院） 「小児喘息 Update：ガイドラインはどこに向かうべきか？」</p> <p>【一般演題 Session1】 座長：植木重治（秋田大学 総合診療・検査診断学講座） 演者：河野 資（東北薬科大学 病態生理学教室） 「精神的ストレスによる喘息発症の機序—ストレスによる 免疫寛容の抑制—」 演者：糸賀正道（弘前大学呼吸器内科） 「住民健診における、呼気 NO の検討」 演者：本田耕平（秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「鼻茸における局所 IgE 産生の検討」</p> <p>【一般演題 Session2】 座長：本田耕平（秋田大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 演者：千葉真士（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 「ステロイド抵抗性喘息における GLCCI 1 遺伝子変異の役割」 演者：植木重治（秋田大学総合診療・検査診断学講座） 「気道粘液中の Extracellular DNA traps を観察したアレル ギー性気管支肺アスペルギルス症（ABPA）の一例」 演者：太田伸男（山形市立病院済生館耳鼻いんこう科） 「好酸球性中耳炎における eosinophil extracellular DNA traps cell death（EETosis）」</p> <p>【一般演題 Session3】 座長：木村啓二（平鹿総合病院呼吸器内科） 演者：山内智彦（福島県立医科大学会津医療センター耳鼻咽喉科） 「好酸球性多発血管炎性肉下種症（EGPA）の 2 症例」 演者：竹之下秀雄（白河厚生総合病院皮膚科） 「非定型的皮疹を伴った成人 Still 病を合併した組織球性 壊死性リンパ節炎（菊池病）の 1 例」 演者：岸 幹二（会津中央病院小児科） 「吸入指導の実情～患者向け使い方説明書の問題点～」</p> <p>【特別講演】 座長：塩谷隆信（秋田大学理学療法学講座） 講演：東田有智（近畿大学呼吸器・アレルギー内科） 「実地医家における喘息の診断と治療」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 第 11 回宮城県免疫アレルギー懇話会 日時：平成 27 年 7 月 18 日 会場：長陵会館 記念ホール 参加人数：27 名</p>	<p>【一般演題】 座長：相場節也（東北大学皮膚科） 演者：宍倉 裕（東北大学呼吸器内科） 「ウイルス感染による気管支喘息増悪：ATP 放出の関与」 演者：木村 裕（東北大学皮膚科） 「IL-8 reporter 細胞（THP-G8）を用いた抗 TNF-α 抗体製剤投与中乾癬患者の薬剤反応性予測」 演者：斎藤秀憲（宮城県立こども病院総合診療科） 「特異的 IgE 値と加熱卵白の段階的食物負荷試験の関係の検討」 演者：平林泰彦（光が丘スペルマン病院リウマチ科） 「アレルギー対策が奏功した神経痛の 3 症例」</p> <p>【特別講演】 座長：一ノ瀬正和（東北大学呼吸器内科） 講師：菊地利明（新潟大学呼吸器・感染症内科） 「呼吸器アレルギー疾患の診断と治療～過敏性肺炎を中心に～」</p>
<p>(4) 第 35 回秋田小児アレルギー研究会 日時：平成 27 年 7 月 25 日 会場：ホテルメトロポリタン秋田 参加人数：33 名</p>	<p>【一般演題】 座長：小松真紀（秋田厚生医療センター小児科） 演者：渡辺圭介（由利組合総合病院小児科） 「エピペンを 2 本所持していたので、誤注射したがアナフィラキシーへの緊急対応が可能であった多項目食物アレルギーの 1 例」 演者：千葉剛史（中通総合病院小児科） 「誤診されやすいアレルギー関連疾患の 2 例」</p> <p>【特別講演】 座長：高橋 勉（秋田大学小児科） 講演：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センター） 「食物アレルギーの正しい診断と社会的対応」</p>
<p>(5) 第 12 回ふくしま小児アレルギー・喘息治療懇話会 日時：平成 27 年 8 月 29 日 会場：郡山ビューホテルアネックス 参加人数：25 名</p>	<p>【一般講演】 座長：生井良幸（太田西ノ内病院周産期センター） 演者：糸永宇慧（太田西ノ内病院小児科） 「新生児消化管アレルギーの 1 例」 演者：岸 幹二（会津中央病院小児科） 「小児における吸入指導の実情」</p> <p>【特別講演】 座長：太神和廣（おおがクリニック） 演者：亀田 誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「アドヒアランス向上を目指した小児喘息治療」</p>
<p>(6) 第 5 回いわて小児アレルギー疾患研究会 日時：平成 27 年 9 月 5 日 会場：盛岡グランドホテル 参加人数：39 名</p>	<p>【一般講演】 座長：三浦義孝（みうら小児科） 演者：西島浅香（西島こどもクリニック） 「乳児期の食物アレルギーとアトピー性皮膚炎がその後のアレルギー疾患の発症に及ぼす影響に関する臨床的検討」 演者：佐々木美香（もりおかこども病院） 「食物アレルギー患者の周産期及び乳児期の栄養について」</p> <p>【特別講演】 座長：赤坂 徹（もりおかこども病院） 演者：森田栄伸（島根大学皮膚科） 「食物アレルギーと皮膚感作の病態」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(7) 第9回東北喘息/COPD研究会 日時：平成27年9月12日 会場：江陽グランドホテル 参加人数：76名</p>	<p>【特別講演Ⅰ】 座長：三浦克志（宮城県立こども病院） 演者：森川昭廣（北関東アレルギー研究所） 「小児気管支喘息の過去・現在・未来〈予防も含めて〉」</p> <p>【特別講演Ⅱ】 座長：一ノ瀬正和（東北大学呼吸器内科） 演者：藤本圭作（信州大学保健学科） 「COPD phenotype」</p> <p>【特別講演Ⅲ】 座長：木村啓二（平鹿総合病院呼吸器内科） 演者：松瀬厚人（東邦大学医療センター大橋病院） 「気管支喘息の感染対策－発症、増悪から難治化まで－」</p>
<p>(8) 第41回青森県アレルギー懇話会学術講演会 日時：平成27年9月18日 会場：ホテルナクアシティ弘前 参加人数：50名</p>	<p>【特別講演Ⅰ】 座長：松原 篤（弘前大学耳鼻咽喉科） 演者：中丸裕爾（北海道大学病院耳鼻咽喉科） 「喘息に関与する鼻副鼻腔疾患－好酸球性副鼻腔炎とアレルギー性鼻炎－」</p> <p>【特別講演Ⅱ】 座長：高梨信吾（弘前大学保健管理センター） 演者：永田 真（埼玉医科大学呼吸器内科） 「喘息治療の方向性」</p>
<p>(9) 日本アレルギー協会東北支部学術講演会 日時：平成27年11月7日 会場：江陽グランドホテル 参加人数：49名</p>	<p>【特別講演Ⅰ】 座長：松原 篤（弘前大学耳鼻咽喉科） 演者：松根彰志（日本医科大学耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎・花粉症の病態と治療についての最新の話」</p> <p>【特別講演Ⅱ】 座長：赤坂 徹（もりおかこども病院小児科） 演者：望月博之（東海大学小児科） 「小児の喘息における咳嗽と喘鳴の病態治療の最前線」</p> <p>【特別講演Ⅲ】 座長：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 演者：田村 弦（仙台気道研究所） 「レスピマットの有用性」</p>
<p>(10) 第14回気道疾患対策セミナー 日時：平成28年2月6日 会場：江陽グランドホテル 参加人数：197名</p>	<p>【特別講演Ⅰ】 座長：小川 洋（福島県立医科大学会津医療センター耳鼻咽喉科） 演者：鈴木元彦（名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学） 「アレルギー性鼻炎に対する新しい免疫療法－根治を目指して－」</p> <p>【特別講演Ⅱ】 座長：森川みき（森川小児科アレルギー科クリニック） 演者：望月博之（東海大学小児科） 「小児喘息における発症因子・悪化因子の再考」</p> <p>【特別講演Ⅲ】 座長：一ノ瀬正和（東北大学呼吸器内科学） 演者：田村 弦（仙台気道研究所） 「ロイコトリエン受容体拮抗薬発売20年～これまでとこれから～」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(11) 第 23 回福島県アレルギー研究会 日時：平成 28 年 2 月 27 日 会場：福島テルサ 参加人数：28 名</p>	<p>【一般演題】 座長：川崎幸彦（福島県立医科大学小児科） 佐藤秀三（福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科） コメンテーター：竹内 大（防衛医科大学校眼科） 演者：森 隆史（福島県立医科大学眼科） 「ANCA-associated vasculitis 治療中眼瞼結膜炎に IgG4 陽性形質細胞を伴う腫瘍を生じた 2 例」 演者：佐藤秀三（福島県立医科大学消化器・リウマチ膠原病内科） 「Rituximab を投与した ANCA 関連血管炎の 7 例」 演者：佐藤 俊（福島県立医科大学呼吸器内科） 「壊死性リンパ節炎を合併した皮膚筋炎に伴う間質性肺炎の 1 例」 演者：前田 亮（福島県立医科大学小児科） 「抗 HMGCR 抗体陽性にて診断に至った自己免疫介在性壊死性ミオパチーの 1 例」 演者：野本美香（福島県立医科大学耳鼻咽喉科） 「当科における好酸球性副鼻腔炎の治療経験」 演者：伊藤 崇（福島県立医科大学皮膚科） 「ピロリ菌除菌療法による蕁疹のまとめ」</p> <p>【特別講演】 座長：石籠鉄樹（福島県立医科大学眼科） 演者：竹内 大（防衛医科大学校眼科） 「ベーチェット病ぶどう膜炎診断のパラダイムシフト」</p>
<p>(12) 第 45 回岩手アレルギー・呼吸器懇話会 日時：平成 28 年 3 月 3 日 会場：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 参加人数：88 名</p>	<p>【速報】 演者：須藤守夫（須藤内科クリニック）</p> <p>【特別講演 I】 座長：千田勝一（岩手医科大学小児科） 演者：太田伸男（山形市立病院済生館耳鼻いんこう科） 「小児アレルギー性鼻炎の Up-to-date」</p> <p>【特別講演 II】 座長：山内広平（岩手医科大学呼吸器・アレルギー・膠原病内科） 演者：井上雅博（鹿児島大学呼吸器内科） 「ACOS へのアプローチ」</p>
<p>(13) 第 16 回郡山アレルギー研究会 日時：平成 28 年 3 月 12 日 会場：ホテルハマツ 参加人数：61 名</p>	<p>【一般演題】 演者：遠藤平仁（寿泉堂総合病院リウマチ膠原病内科） 「好酸球増多を伴う膠原病のサイトカインの特徴」</p> <p>【特別講演 I】 座長：金子史男（総合南東北病院皮膚免疫・アレルギー疾患研究所） 演者：阿部理一郎（新潟大学皮膚科学分野） 「重症蕁疹の最近の話題」</p> <p>【特別講演 II】 座長：太神和廣（おおがクリニック） 演者：小林茂俊（帝京大学小児科） 「アトピー性皮膚炎における睡眠と搔破の解析」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>II. 啓発活動事業</p> <p>1. 第 21 回アレルギー週間事業</p> <p>(1) 仙台市 日時：平成 27 年 4 月 25 日 会場：仙台ガーデンパレスホテル 参加人数：30 名</p> <p>2. 第 22 回アレルギー週間事業</p> <p>(1) 郡山市 日時：平成 28 年 2 月 6 日 会場：ビッグアイ 7 階会議室 参加人数：38 名</p> <p>(2) 山形市 日時：平成 28 年 2 月 27 日 会場：山形テルサ 参加人数：200 名</p> <p>(3) 秋田市 日時：平成 28 年 3 月 5 日 会場：明德館ビル 2 階カレッジプラザ 参加人数：52 名</p> <p>(4) 盛岡市 日時：平成 28 年 3 月 6 日 会場：アイーナ 参加人数：50 名</p>	<p>「アレルギーの克服に向けて」 座長：一ノ瀬 正和（東北大学 呼吸器内科） 演者：相場 節也（東北大学 皮膚科）</p> <p>「知っておきたいアトピー性皮膚炎の治療」 座長：相場 節也（東北大学 皮膚科） 演者：一ノ瀬 正和（東北大学 呼吸器内科）</p> <p>「知っておきたい喘息の治療」</p> <p>「止まらない咳…それ喘息かも？」 座長：須田秀一（太田総合病院附属太田熱海病院） 演者：松浦圭文（太田総合病院附属太田西ノ内病院）</p> <p>「止まらない咳・息切れ、それは喘息かも」 演者：安達優真（太田総合病院附属太田西ノ内病院）</p> <p>「咳・息切れでお困りの患者のために」</p> <p>* 質疑応答</p> <p>「アレルギーはこわくない」 司会：欠畑誠治（山形大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科） 演者：矢口順子（山形市立病院済生館皮膚科）</p> <p>「アトピー性皮膚炎について」 演者：井上純人（山形大学呼吸器内科）</p> <p>「喘息とのつきあい方」 演者：今野昭宏（この小児科クリニック）</p> <p>「こどもの食物アレルギー うそ・ほんと」 演者：鈴木祐輔（山形大学耳鼻咽喉・頭頸部外科）</p> <p>「どうする？こどものアレルギー ～お子さんのアレルギーでお悩みの方々へ～」 司会：植木重治（秋田大学総合診療・検査診断学講座） 演者：小松真紀（秋田厚生医療センター小児科）</p> <p>「よくわかる、子どものアレルギーの全体像」 演者：中山真紀（秋田大学栄養管理部）</p> <p>「食べ物のアレルギー、献立のコツは？」 演者：駒形友康（平鹿総合病院小児科）</p> <p>「アレルギーは予防できる？」 演者：千葉剛史（中通総合病院小児科）</p> <p>「子どものアレルギーはどう治療してる？」</p> <p>* 専門医による Q&A コーナー</p> <p>「子どものアレルギーにおける最近の話題」 司会：赤坂 徹（もりおかこども病院） 佐々木美香（もりおかこども病院） 演者：佐々木朋子（岩手医科大学小児科）</p> <p>「食松アレルギーの診療とケアについて」 演者：梶原 和華（もりおかこども病院）</p> <p>「乳幼児期の喘息について」 演者：大浦雅之（大浦内科歯科クリニック）</p> <p>「思春期の喘息について」 演者：須藤守夫（須藤内科クリニック）</p> <p>「今年のスギ花粉飛散について」</p> <p>* 質疑応答</p>

実施事業	概要
(5) 青森市 日時：平成 28 年 3 月 26 日 会場：アウガ 男女共同参画プラザ 参加人数：129 名	「アレルギーとどう付き合うのか ～さまざまなアレルギーとその対処法～」 座長：黒沼忠由樹（国立病院機構青森病院アレルギー科） 演者：田中佳人（弘前大学呼吸器内科） 「喘息の治療～その咳 喘息かもしれません～」 演者：北村英夫（青森県立中央病院 皮膚科） 「原因がわからないじんましん、アナフィラキシー ～患者さんは不安なのです～」 演者：曾田久美子（青森県立中央病院小児科） 「小児の食物アレルギー～経口負荷試験、アナフィラキシー について～」 演者：白崎理喜（たかしクリニック耳鼻咽喉科） 「スギ花粉とその対策」
Ⅲ. 定例会議 平成 27 年 7 月 4 日 平成 27 年 11 月 7 日	第 1 回東北支部世話人会（於：秋田市） 第 2 回東北支部世話人会（於：仙台市）

北関東支部（支部長 土橋邦生）

（敬称略）

実施事業	概要
Ⅰ. 研究会事業 (1) 第 65 回新潟アレルギー研究会（共催） 日時：平成 27 年 6 月 13 日（土） 場所：ホテルラングウッド新潟 参加人数：62 名 (2) 呼吸器・アレルギーフォーラム in 群馬 （共催） 日時：平成 28 年 2 月 4 日（木） 場所：群馬ロイヤルホテル 2F 参加人数：58 名 (3) 県南喘息学術講演会～アレルギー週間 2016～（共催） 日時：平成 28 年 2 月 25 日（木） 場所：オークラフロンティアホテルつくば 参加人数：126 名 (4) 第 7 回栃木県耳鼻咽喉科フォーラム （後援） 日時：平成 28 年 2 月 25 日（木） 場所：宇都宮グランドホテル 参加人数：34 名	特別講演：下条直樹（千葉大学大学院医学研究院・小児病態学） 「小児の気道アレルギー発症とアレルギーマーチ」 教育講演：川崎 克（空港前クリニック） 「アレルギー性鼻炎と花粉症」 一般演題：3 題 演者：滝沢琢己（群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野） 「小児気管支喘息におけるバイオマーカー」 橋本 修（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野） 「気管支喘息の診断と治療」 特別講演：気道ウイルス感染と小児喘息 座長：林 大輔（龍ヶ崎済生会病院小児科） 演者：吉原重美（独協医科大学小児科） 特別講演：重症喘息の病態と治療 座長：檜澤伸之（筑波大学医学医療系呼吸器内科） 演者：谷口正実（国立病院機構相模原病院臨床研究センター） 一般講演：「2016 年栃木県におけるスギ花粉飛散予測」 座長：西野 宏（自治医科大学耳鼻咽喉科学講座） 演者：今野 涉（獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 一般講演：「スギ花粉症における舌下免疫療法の効果」 演者：菊池 恒（きくちクリニック） 特別講演：「気道炎症における好酸球の役割：好酸球は善玉か悪 玉か」 座長：春名眞一（獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科） 演者：神田 晃（関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

実施事業	概要
<p>(5) 第2回気道病態研究会～アレルギー週間 2016～(後援) 日時：平成28年3月3日(木) 場所：宇都宮グランドホテル 参加人数：34名</p>	<p>特別講演：「エクソソームによる疾患診断と治療」 座長：石井芳樹(獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科) 演者：落谷孝広(国立研究開発法人国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野) ディスカッション：「エクソソームの呼吸器疾患への臨床応用について」 座長：石井芳樹(獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科)</p>
<p>II. 啓発活動事業 第22回アレルギー週間</p> <p>(1) 栃木県 日時：平成28年2月20日(土) 場所：栃木県教育会館大会議室 参加人数：35人</p> <p>(2) 群馬県 日時：平成28年2月20日(土) 場所：群馬大学保健学科 ミレニアムホール 参加人数：46名</p> <p>(3) 新潟県 日時：平成28年2月21日(日) 場所：新潟ユニゾンプラザ 参加人数：48名</p>	<p>テーマ：アレルギー疾患の新しい治療法 講演：武政聡浩(獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科) 「アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法」 石井芳樹(獨協医科大学呼吸器・アレルギー内科) 「喘息の気管支治療－気管支温熱療法－」 医療相談会</p> <p>総合司会：土橋邦生(群馬大学大学院保健学研究所) 講演：太田匡哉(群馬大学病院小児科) 「食物アレルギー 最近の話題」 天野博雄(群馬大学病院皮膚科) 「アトピー性皮膚炎の治療について」 近松一郎(群馬大学病院耳鼻咽喉科) 「アレルギー性鼻炎の治療－内服治療から免疫療法まで－」 医療相談会</p> <p>講演：篠川真由美(南部郷総合病院内科) 「気管支ぜんそく」 上原由美子(新潟市民病院小児科) 「食物アレルギー」 川崎 克(空港前クリニック) 「アレルギー性鼻炎」 齋藤幹央(新潟薬科大学臨床薬学研究室) 「薬剤アレルギー」 医療相談会</p>

関東支部(支部長 足立 満)

(敬称略)

実施事業	概要
<p>I. 啓発活動事業 第22回アレルギー週間</p> <p>(1) 埼玉地区 日時：平成28年2月6日(土) 場所：大宮ソニックシティ9階 参加人数：35名</p>	<p>アレルギー週間市民公開講座2016 －正しい知識が治療の第一歩です。あなたも参加してみませんか－ 第1部：講演 司会：永田 真(埼玉医科大学呼吸器内科) 上條 篤(埼玉医科大学耳鼻咽喉科) 「スギ花粉症」 小山信一郎(自治医科大学附属さいたま医療センター呼吸器内科) 「気管支喘息」 戸塚隆太(いわつき小児クリニック) 「食物アレルギー」 第2部：公開質問</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 長野地区 日時：平成 28 年 2 月 21 日（日） 場所：信州大学医学部附属病院外来棟 4 階大会議室 参加人数：約 80 名</p> <p>(3) 千葉中央地区 日時：平成 28 年 2 月 28 日（日） 場所：千葉県医師会 3 階会議室 参加人数：89 名</p>	<p>信州アレルギー市民フォーラム 2016 開会の言葉：花岡正幸（信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症・アレルギー内科） 講演 1：安尾将法（信州大学医学部附属病院呼吸器・感染症・アレルギー内科） 「成人ぜんそくと治療薬について」 講演 2：小口智啓（小口耳鼻咽喉科医院） 「アレルギー性鼻炎と舌下免疫療法について」 講演 3：小林法元（信州大学医学部附属病院小児科） 「こどものアレルギーについて」 質問の時間： 閉会の言葉：藤本圭作（信州大学医学部生体情報検査学）</p> <p>アレルギー週間市民公開講座 ～アレルギー疾患治療管理の最前線～ 開会挨拶：西牟田敏之（千葉県医師会公衆衛生担当理事/国立病院機構下志津病院）</p> <p>第 1 部：講演 座長：岡本美孝（千葉大学医学部耳鼻咽喉科） 下条直樹（千葉大学医学部小児科） 講演：山出史也（千葉大学医学部小児科） 「食物アレルギー」 目黒和行（千葉大学医学部アレルギー・膠原病内科） 「さようなら！ぜん息症状」 飯沼智久（千葉大学医学部耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎 / 花粉症の最新治療」 松江弘之（千葉大学医学部皮膚科） 「アトピー性皮膚炎の標準治療」</p> <p>第 2 部：質問コーナー 座長：板谷喬起（板谷内科クリニック） 椿 俊和（つばきこどもクリニック） 相談回答者：第 1 部講演の講師 閉会挨拶：河野陽一（千葉ろうさい病院）</p>
<p>(4) 神奈川地区 日時：平成 28 年 2 月 28 日（日） 場所：横浜新都市ビル（そごう） 9 階ミーティングルーム 参加人数：70 名</p>	<p>アレルギー週間市民公開講座 ～アレルギー疾患の克服に向けて～ アレルギー患者相談会 －アレルギー疾患の予防、治療法をより良く知るために－ 講演：池澤善郎（あい皮膚科アレルギー科/横浜市立大学名誉教授） 「アトピー性皮膚炎の病型別・病態別治療の試み」</p> <p>個別相談： 小児科（食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・小児喘息など） 相談員：海老澤元宏（国立病院機構相模原病院） 高増哲也（神奈川県立こども医療センター） 柳田紀之（国立病院機構相模原病院） 皮膚科（成人アトピー性皮膚炎・じんましんなど） 相談員：池澤善郎（あい皮膚科アレルギー科） 高橋一夫（藤沢市民病院） 大松華子（国立病院機構相模原病院） 内科（成人喘息・アレルギー性鼻炎など） 相談員：中村陽一（横浜市立みなと赤十字病院） 谷口正美（国立病院機構相模原病院） 福富友馬（国立病院機構相模原病院）</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 千葉東部地区 日時：平成28年3月6日(日) 場所：成田市保健福祉館 参加人数：70名</p>	<p>市民公開講座「アレルギー・アトピーの克服に向けて」 開会の挨拶：平栗雅樹(成田赤十字病院リウマチ・アレルギー内科) 第1部講演： 司会：松山 剛(県立佐原病院小児科) 講演：井上祐三朗(千葉大学大学院医学研究院小児病態学) 「こどものアレルギーを治すために(食物アレルギーとアトピー性皮膚炎を中心に)」 第2部講演： 司会：永山博敏(国保旭中央病院皮膚科) 講演：樋口哲也(東邦大学医療センター佐倉病院皮膚科) 「アトピー性皮膚炎の正しい対応について」 第3部講演： 司会：太田 康(東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻科) 米倉修二(千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学) 閉会の挨拶：遠山正博(印旛市郡医師会会長)</p>

東海支部(支部長 高木健三)

(敬称略)

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究会事業 (1) 第12回岐阜小児血液免疫アレルギー難治疾患研究会(後援) 日時：平成27年6月4日(木) 場所：岐阜グランドホテル東館2階 鳳凰の間 参加人数：34名 (2) 第17回名古屋呼吸器研究会(後援) 日時：平成27年6月18日(木) 場所：名古屋東急ホテル3階 参加人数：77名</p>	<p>一般演題： 座長：金子英雄(国立病院機構長良医療センター小児科臨床研究部) 講師：浅野 勤(岐阜大学医学部附属病院小児科) 「哺乳開始前に血便を呈した新生児・乳児消化管型牛乳アレルギーの1例」 特別講演： 座長：深尾敏幸(岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学) 講師：大矢幸弘(国立成育医療研究センターアレルギー科) 「食物アレルギーとアトピー性皮膚炎のスキンケアの関係」 開会の辞：新実彰男(名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 特別講演1： 座長：今泉和良(藤田保健衛生大学呼吸器内科・アレルギー科) 講師：白井敏博(静岡県立総合病院呼吸器内科) 「喘息診療ガイドライン2015改定のポイント」 特別講演2： 座長：柘植郁哉(藤田保健衛生大学小児科) 講師：荒川浩一(群馬大学大学院医学系研究科小児科学分野) 「気道分泌制御のメカニズム」 閉会の辞：近藤康人(藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科)</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 第 8 回岐阜免疫・感染・川崎病研究会 (後援) 日時：平成 27 年 7 月 23 日 (木) 場所：岐阜グランドホテル東館 2 階 鳳凰の間 参加人数 50 名</p>	<p>講演 1： 座長：大西秀典 (岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学) 講師：松井 彩 (国立病院機構長良医療センター臨床研究部) 「話題の CRISPR/Cas9 ゲノム編集技術を用いた原発性免疫不全症候群の研究」 講師：川合裕規 (大垣市民病院) 「自己免疫性好中球減少症の 1 小児例」 講師：豊島由佳 (岐阜市民病院小児科) 「急性腎不全と川崎病様症状を呈したエルシニア感染症の 1 例」 特別講演： 座長：深尾敏幸 (岐阜大学大学院医学系研究科小児病態学) 講師：石井正浩 (北里大学医学部小児科学) 「川崎病の効果的急性期治療：メカニズムの解明」</p>
<p>(4) 第 57 回東海喘息研究会 (後援) 日時：平成 27 年 9 月 10 日 (木) 場所：メルパルク名古屋 2 階羽衣 参加人数：28 名</p>	<p>教育講演： 座長：馬場研二 (愛知医科大学メディカルクリニック) 講師：室谷健太 (愛知医科大学臨床研究支援センター) 「喘息研究におけるクラスター分析の応用 ～クラスター分析で何ができるのか～」 特別講演 座長：山口悦郎 (愛知医科大学呼吸器・アレルギー内科) 講師：今野 哲 (北海道大学大学院医学研究科呼吸器内科学分野) 「気管支喘息と COPD の共通病態の理解 －疫学、遺伝子多型及びコホート研究より－</p>
<p>(5) 第 15 回愛知成人喘息研究会 (後援) 日時：平成 27 年 9 月 16 日 (水) 場所：ウェスティンナゴヤキャッスル 2 階青雲 参加人数：44 名</p>	<p>特別講演： 座長：新実彰男 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 講師：相良博典 (昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門) 「アレルギー性喘息における治癒の可能性」 講師：谷口正実 (国立病院機構相模原病院臨床研究センター) 「アスピリン喘息における治癒と難治化」 Q&A、ディスカッション： 座長：長谷川好規 (名古屋大学大学院医学研究科呼吸器内科学) ディスカッサント： 新実彰男 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 相良博典 (昭和大学医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門) 谷口正実 (国立病院機構相模原病院臨床研究センター) 閉会の挨拶：新実彰男 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学)</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(6) 第 42 回東海花粉症研究会 (後援) 日時：平成 27 年 12 月 12 日 (土) 場所：名古屋ダイヤビルディング 2 号館 3 階 233 会議室 参加人数：40 名</p>	<p>テーマ演題： 司会：伊藤由紀子 (三重中央医療センター耳鼻咽喉科)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 湯田厚司ほか (ゆたクリニック) 「三重県のスギ・ヒノキ花粉の 2015 年飛散結果と 2016 年飛散予測」 2. 村嶋智明ほか (藤田保健衛生大学 耳鼻咽喉科学教室) 「当科における 2015 年スギ・ヒノキ科花粉飛散状況、2016 年スギ・ヒノキ科花粉飛散予測について」 3. 伊藤由紀子ほか (NHO 三重中央医療センター耳鼻咽喉科ほか) 「三重県津市久居地区でのスギ、ヒノキ型花粉の 2016 年予測と 2015 年飛散結果について」 4. 水田啓介ほか (岐阜県耳鼻咽喉科花粉情報システム) 「岐阜県における 2015 年のスギ・ヒノキ科花粉飛散結果と 2016 年のスギ・ヒノキ科花粉飛散予測」 5. 田中幸治ほか (大垣市民病院薬剤部) 「大垣市民病院における 2015 年スギ・ヒノキ科花粉飛散結果と、2016 年のスギ・ヒノキ科花粉飛散予測」 6. 北村泰宏ほか (日本気象協会) 「2015 年スギ・ヒノキ科花粉の飛散結果と 2016 年の飛散予想」 7. 横田誠ほか (名古屋市立大学耳鼻咽喉科ほか) 「浜松市におけるスギ花粉飛散の 2014 年結果と 2015 年予測」 8. 富田啓一 (東海花粉研究所ほか) 「浜松市におけるスギ型・ヒノキ型花粉の 2015 年飛散結果と 2016 年予測」 9. 都築秀明 (耳鼻咽喉科みやこクリニックほか) 「愛知県知多郡東浦町におけるスギ花粉の 2015 年飛散結果と 2016 年飛散予測」 <p>一般演題： 司会：伊藤博隆 (いとうひろたか耳鼻咽喉科・アレルギー科)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 堀口茂俊 (飯田病院耳鼻咽喉科・アレルギー科ほか) 「東海地域は全国スギ花粉飛散状況から見るとどんな地域か」 2. 野村孝奏ほか (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野ほか) 「スギ舌下免疫療法が抗原特異的 Th 細胞に与える影響」 3. 宇佐神篤ほか (東海花粉症研究所ほか) 「ヒノキ科花粉 (スギ型・ヒノキ型花粉) 飛散とシーズン降水量」 <p>特別演題： 座長：横田 明 (横田耳鼻咽喉科) 講師：市瀬孝道 (大分県立看護科学大学人間科学講座生体反応学研究室) 「黄砂と PM2.5 の炎症誘導とアレルギー増悪作用について」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(7) 第 58 回東海喘息研究会 (後援) 日時：平成 28 年 3 月 3 日 (木) 場所：メルパルク名古屋 2 階羽衣 参加人数：41 名</p>	<p>教育講演： 座長：磯谷澄都 (藤田保健衛生大学呼吸器内科学 I) 講師：丹羽義和 (藤田保健衛生大学呼吸器内科学 I) 「気管支サーモプラスティを施行した難治性喘息の一例」 特別講演： 座長：今泉和良 (藤田保健衛生大学呼吸器内科学 I) 講師：出原賢治 (佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学 分野) 「呼吸器疾患におけるペリオスチンの役割と臨床応用」</p>
<p>II. 啓発活動事業 第 22 回アレルギー週間 (1) 愛知県 日時：平成 28 年 2 月 14 日 (日) 場所：名古屋大学大幸キャンパス 東館 4 階大講義室 参加人数：第 1 部 29 名、 第 2 部 23 名 質問者 5 名</p> <p>(2) 岐阜県 日時：平成 28 年 2 月 17 日 (水) 場所：国立病院機構長良医療センター リハビリ・療育訓練等 3F 地域医療連携会議室 参加人数：30 名</p> <p>(3) 三重県 日時：平成 28 年 2 月 18 日 (木) 場所：三重大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外 科外来 相談者：3 名</p>	<p>アレルギー週間市民公開講座・相談会 アレルギーをもつ人の日頃の過ごし方—小児の場合と大人の場合— 開会挨拶：高木健三 (日本アレルギー協会東海支部長) 第 1 部：講演 座長：川部 勤 (名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座) 講師：杉浦至郎 (小児保健医療総合センターアレルギー科、京 都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻 医療経済学教室) 「食物アレルギーと日常生活」 講師：若山尚士 (名古屋第二赤十字病院呼吸器・腫瘍内科) 「ぜんそく患者の日常管理」 第 2 部：相談会 司会：川部 勤 (名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座) 相談回答医：杉浦至郎 (小児保健医療総合センターアレルギー 科、京都大学大学院医学研究科社会健 康医学系専攻医療経済学教室) 若山尚士 (名古屋第二赤十字病院呼吸器・腫瘍内 科) 閉会挨拶：高木健三 (日本アレルギー協会東海支部長) アレルギー週間公開講座 アレルギーと上手く付き合うために 開会挨拶：山田堅一 (国立病院機構長良医療センター院長) 座長：金子英雄 (国立病院機構長良医療センター臨床研究部) 講師：佐野公泰 (国立病院機構長良医療センター呼吸器内科) 「気管支喘息の診断と治療」 講師：大塚行子 (国立病院機構長良医療センター小児科) 「食物アレルギーにおける経口負荷試験と経口免疫療法」 講師：中西里映子 (認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク) 「患者会の活動で子どもたちの健やかな生活環境をつくる —岐阜県における患者会の現状—」 質疑応答 閉会挨拶：金子英雄 (国立病院機構長良医療センター臨床研究部) アレルギー性鼻炎と花粉症の医療相談会 相談回答医：竹内万彦 (三重大学病院耳鼻咽喉科)</p>

実施事業	概要
(4) 静岡県 日時：平成 28 年 2 月 20 日 (土) 場所：なゆた浜北 3 階大会議室 参加人数：66 名	第 22 回アレルギー週間市民公開講座 講演 1： 講師：石川竜司 (浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 「アレルギー性鼻炎の治療－舌下免疫療法－」 講演 2： 講師：西田光宏 (浜松医療センター小児科) 「子どものアレルギー最前線－食物アレルギーは予防できる？早く治せる？－」 個別相談： 相談医：大場久乃 (国立病院機構天竜病院呼吸器・アレルギー科) 「大人のアレルギーよろず相談」
Ⅲ. 支部幹部・県代表者会議	・平成 27 年 10 月 30 日 アレルギー週間啓発活動事業 2016 計画 災害時の対応、支援活動に関するワーキンググループ会議報告

北陸支部 (支部長 眞弓光文)

(敬称略)

実施事業	概要
I. 研究会事業 (1) 第 36 回富山免疫アレルギー研究会 (後援) 日時：平成 27 年 6 月 25 日 場所：ANA クラウンプラザホテル富山 参加者数：52 名 (2) 第 2 回福井アレルギー疾患研究会 (後援) 日時：平成 27 年 9 月 17 日 場所：福井商工会議所ビル 参加人数：52 名	座長：牧野輝彦 (富山大学医学部皮膚科) 一般演題 1：森直哉 (富山大学皮膚科) 「薬剤パッチテストによって flare-up 反応を起こしたアモキシシリンによる薬疹の 1 例」 一般演題 2：山本武 (富山大学和漢医薬学総合研究所) 「葛根湯の制御性 T 細胞の誘導による食物アレルギーモデルでの治療効果」 一般演題 3：松井篤 (富山大学第一内科) 「汎血球減少症を併発した IgG 関連疾患の一例」 一般演題 4：和田拓也 (富山大学小児科) 「小児アレルギー性鼻炎の重症度ならびに症状レベルの評価における VAS (visual analog scale) の有用性の検討」 特別講演 座長：清水忠道 (富山大学皮膚科) 講師：相場節也 (東北大学皮膚科) 「好酸球性皮膚炎」 特別講演 I 司会：大嶋勇成 (福井大学医学部病態制御医学講座小児科学) 講師：長尾みづほ (国立病院機構三重病院アレルギー疾患治療開発研究室長) 「小児の咳嗽について」 特別講演 II 司会：石塚 全 (福井大学医学部病態制御医学講座内科学 (3)) 講師：新実彰男 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学教授) 「慢性咳嗽の診断と治療」

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 第 42 回北陸アレルギー研究会 (共催) 日時：平成 27 年 12 月 5 日 場所：金沢都ホテル 参加人数：50 名</p>	<p>座長：石塚 全 (福井大学医学部病態制御医学講座内科学 (3)) 講師：永田 真 (埼玉医科大学 埼玉医科大学病院呼吸器内科) 「喘息・アレルギー診療の方向性」 座長：原丈介 (金沢大学附属病院 呼吸器内科) 一般演題 1：小川晴彦 (石川県済生会金沢病院内科) 「黄砂はアレルギー性気道疾患の臨床症状を修飾するか (Vol.1) ～慢性咳嗽患者および健常人の咳症状に関する前向き臨床試験～」 一般演題 2：上野貴雄 (金沢大学耳鼻咽喉科頭頸部外科) 「黄砂はアレルギー性気道疾患の臨床症状を修飾するか (Vol.2)～慢性咳嗽患者の鼻症状への大気汚染物質の影響」 一般演題 3：東朋美 (金沢大学医薬保健研究域医学系環境生体分子応答学) 「黄砂はアレルギー性気道疾患の臨床症状を修飾するか (Vol.3)～慢性咳嗽患者の咳症状への黄砂や PM2.5 の影響～」 座長：林龍二 (富山大学第 1 内科) 一般演題 4：氏野由理 (石川県立中央) 「口唇ヘルペスと類似した造影剤イオパミドールによる多発性固定薬疹の 1 例」 一般演題 5：松田裕介 (金沢大学医薬保健研究域医学系小児科) 「FPIES における食物負荷後の好酸球 CD69 の発現増強」 一般演題 6：酒井珠美 (金沢大学附属病院呼吸器内科) 「気管支平滑筋収縮をトリガーとする咳嗽に対する prostaglandin (PG) I2 の影響」 一般演題 7：伊藤靖典 (富山大学小児科) 「鶏卵アレルギー患者における鶏卵抗原特異的制御性 T 細胞の検出方法の検討」</p>
<p>II. 啓発活動事業 2016 (第 22 回) アレルギー週間 (1) 富山県 日時：平成 28 年 2 月 21 日 (日) 場所：富山総合福祉会館サンシップとやま 参加人数：45 名</p>	<p>第 22 回アレルギー週間記念行事 アレルギー疾患講演会と相談会 [講演会] 中川 肇 (富山大学耳鼻咽喉科・経営企画情報部) 「アレルギー性鼻炎と向き合う」 足立陽子 (富山大学小児科) 「食物アレルギーと向き合う (誤食時の対応も含めて)」 牧野輝彦 (富山大学皮膚科) 「アトピー性皮膚炎ー最近の話題ー」 [個別相談会] 富山大学各診療科医師による個別相談会</p>

実 施 事 業	概 要
(2) 石川県 日時：平成 28 年 2 月 20 日（土） 場所：金沢大学附属病院宝ホール 参加人数：40 名	第 22 回アレルギー疾患の講演と相談会 講演会：「アレルギー疾患の予防・治療」 濱口儒人（金沢大学皮膚科） 「アトピー性皮膚炎について」 村岡正裕（金沢大学小児科） 「食物アレルギーについて」 正木利憲（金沢大学眼科） 「アレルギー性結膜炎について」 上野貴雄（金沢大学耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎と舌下免疫療法」 酒井珠美（金沢大学呼吸器内科） 「成人気管支喘息について」 個別相談会
(3) 福井県 日時：平成 28 年 2 月 19 日（金） 場所：福井大学医学部附属病院 相談件数：4 件	2016 アレルギー週間・福井アレルギー電話相談 ・アレルギー性鼻炎・花粉症について（耳鼻咽喉科） ・成人の気管支喘息について（呼吸器内科） ・アトピー性皮膚炎について（皮膚科） ・小児の喘息・アトピー性皮膚炎・食物アレルギー（小児科）

関西支部（支部長 東田有智）

（敬称略）

実 施 事 業	概 要
I. 研究助成事業 自由課題研究助成 (1) ウィルス感染症に関する研究	井上雅美（大阪府立母子保健総合医療センター血液・腫瘍科） 研究期間：平成 27 年 8 月～28 年 3 月
II. 研究会事業 (1) 第 15 回小児科医のための喘息治療フォーラム（共催） 日時：平成 27 年 6 月 6 日（土） 場所：大阪府（CIVI 北梅田研修センター） 参加人数：47 名	座長：南部光彦（天理よろづ相談所病院小児科） 一般演題 1：西脇美都穂（大阪府済生会中津病院） 「ぜんそくのコントロール状態と患者教育」 一般演題 2：洪真紀（大阪医科大学小児科） 「枚方市における小児喘息の病診連携」 一般演題 3：高橋真市（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 「入院した乳幼児の反復性喘息の最終診断」 特別講演： 座長：亀田 誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 演者：藤澤隆夫（独立行政法人国立病院機構三重病院） 「小児気管支喘息のよりよいコントロールを目指して」
(2) 第 16 回小児・成人フォーラム（共催） 日時：平成 27 年 7 月 11 日（土） 場所：大阪府（エコルテホール） 参加人数：21 名	テーマ「上気道と下気道のクロストーク」 座長：寺田 信（市立伊丹病院） 演題 1：謝花幸祐（大阪医科大学） 「小児喘息と上気道病変～小児科医の立場から～」 演題 2：乾 崇樹（大阪医科大学） 「好酸球性副鼻腔炎における下気道評価一症例呈示」 演題 3：藤田一彦（清恵会病院内科） 「鼻腔・副鼻腔炎合併の気管支喘息について」

実 施 事 業	概 要
<p>(3) 第 16 回南大阪呼吸器フォーラム (共催) 日時：平成 27 年 7 月 18 日 (土) 場所：大阪府 (ホテルアゴーラリージェンシー堺) 参加人数：32 名</p>	<p>座長：藤原 寛 (藤原内科クリニック) 演題 1：長坂行雄 (洛和会京都呼吸器センター) 「喘息の肺音と治療」 座長：岡崎 浩 (方佑会植木病院) 演題 2：加藤元一 (市立岸和田市民病院呼吸器内科) 「病態生理から見た COPD 治療～患者さんのフェノタイプによる ordermade 治療～」</p>
<p>(4) 第 57 回気管支喘息勉強会 (共催) 日時：平成 27 年 7 月 25 日 (土) 場所：大阪府 (松下 IMP ビル) 参加人数：27 名</p>	<p>司会：南部光彦 (天理よろづ相談所病院) 亀田 誠 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 演題 1：亀崎佐織 (かめさきこども・アレルギークリニック) 「小児喘息は治るか？小児例」 演題 2：末廣 豊 (大阪府済生会中津病院小児科/免疫・アレルギーセンター) 「小児喘息は治るか？成人例」</p>
<p>(5) 第 4 回関西鼻科臨床懇話会 (共催) 日時：平成 27 年 9 月 5 日 (土) 場所：大阪府 (ホテルグランヴィア大阪) 参加人数：73 名</p>	<p>演題 3：亀田桂子 (大阪府立母子保健総合医療センター) 「幼児の喘鳴～鼻疾患の鑑別が重要であった 1 例」 特別講演：大林浩幸 (東濃中央クリニック) 「効果的な患者吸入指導を目指して～医薬連携構築を目指して」</p>
<p>(6) 第 24 回南大阪小児アレルギーカンファレンス (SOPAC) (共催) 日時：平成 27 年 10 月 15 日 (木) 場所：大阪府 (LIC 羽曳野会議室) 参加人数：25 名</p>	<p>司会：友田幸一 (関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学) 座長：朝子幹也 (関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学) 特別講演：太田伸男 (山形市立病院済生館耳鼻咽喉科) 「耳鼻咽喉科免疫関連疾患の最新の知見」 特別講演：春名眞一 (獨協医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科) 「慢性副鼻腔炎の病態と内視鏡手術」</p>
<p>(7) 第 12 回堺小児アレルギー研究会 (共催) 日時：平成 27 年 11 月 7 日 (土) 場所：ホテル・アゴーラリージェンシー堺 参加人数：36 名</p>	<p>司会：村山菊野 (村山小児科) 講演 1：井庭憲人 (大阪府立呼吸器アレルギー医療センター小児科) 「最重症喘息として紹介された声帯機能不全の 12 歳女児例」 講演 2：加納友環 (近畿大学医学部堺病院小児科) 「食物アレルギーにおける検査結果と症状の解離について」</p>
<p>(8) 第 36 回近畿アトピー性皮膚炎皮膚談話会 (共催) 日時：平成 27 年 11 月 28 日 (土) 場所：大阪府 (住友クラブ) 参加人数：19 名</p>	<p>座長：西機哲夫 (にしきこどもクリニック) 講演 1：村上佳津美 (近畿大学医学部堺病院心身診療) 「咳嗽 新しい検査方法について」 講演 2：田中 充 (耳原総合病院小児科) 「耳原総合病院での慢性咳嗽を主訴とした患児のまとめ」 座長：田中 充 (耳原総合病院) 特別講演：亀田 誠 (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「咳が長引く患児の診断と治療について」</p>
<p>(8) 第 36 回近畿アトピー性皮膚炎皮膚談話会 (共催) 日時：平成 27 年 11 月 28 日 (土) 場所：大阪府 (住友クラブ) 参加人数：19 名</p>	<p>テーマ「アトピー性皮膚炎の病態と治療～成人と小児の違いに迫る」 座長：南部光彦 (天理よろづ相談所病院小児科) 講演 1：大嶋勇成 (福井大学医学部病態制御医学小児科学) 「小児アトピー性皮膚炎の病態から治療を考える」 講演 2：室田浩之 (大阪大学医学系研究科皮膚科学教室) 「思春期以降のアトピー性皮膚炎」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>Ⅲ. 講演会・講習会事業</p> <p>(1) 第75回臨床アレルギー研究会（関西） （共催） 日時：平成27年7月18日（土） 場所：大阪府（薬業年金会館） 参加人数：63名</p>	<p>座長：南部光彦（天理よろづ相談所病院小児科）</p> <p>セッション1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 吉野翔子ほか（大阪府済生会中津病院小児科） 「運動によりアナフィラキシーをきたしたコリン性蕁麻疹の一例」 2) 清益功浩ほか（大和高田市立病院） 「下痢と低蛋白血症を呈した牛乳による消化管アレルギーの幼児例」 3) 藤本雅之（宇治武田病院アレルギー科） 「食物アレルギーによるアナフィラキシーへの対応の理解並びにエピペンについての実態・意識調査」 4) 中農昌子ほか（天理よろづ相談所病院） 「奈良県内の教育現場における食物アレルギー対策の現状と今後の課題」 5) 竹村 豊ほか（近畿大学医学部小児科学） 「ピーナッツとナッツ類負荷試験のまとめ」 <p>座長：片岡葉子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター）</p> <p>セッション2</p> <ol style="list-style-type: none"> 6) 渡辺徹也（大阪市立大学医学研究科呼吸器内科学） 「気管支喘息における Brain-Derived Neurotrophic Factor 発現の関与」 7) 佐野博幸ほか（近畿大学医学部内科学教室） 「高齢喘息患者における疾患・薬剤に対する認識度と吸入手技についての検討」 8) 小林良樹（関西医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科） 「気管支喘息合併 ECRS に対する微粒子吸入ステロイド経鼻呼出療法の有効性と呼出速度についての検討」 9) 進藤真久（国立病院機構浜田医療センター） 「上腕伸側の痛みを伴うアトピー性皮膚炎」 10) 河内理咲（関西医科大学附属枚方病院） 「当科の2015年度スギ花粉症舌下免疫療法の有効性に関する検討」 11) 岸田寛子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター皮膚科） 「激しい臨床症状を呈した好酸球性膿疱性毛胞炎の3例」

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 第 76 回臨床アレルギー研究会 (関西) (共催) 日時：平成 27 年 11 月 14 日 (土) 場所：大阪府 (薬業年金会館) 参加人 74 名</p>	<p>座長：岩崎吉伸 (京都府立医科大学呼吸内科) 特別講演：放生雅章 (国立国際医療研究センター) 「気管支喘息治療最近の話題～重症喘息への対応と今後の展望から」</p> <p>セッション 1 座長：西村善博 (神戸大学医学研究科呼吸器内科学)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 北山智哉子ほか (近畿大学医学部呼吸器アレルギー内科) 「ブリ、カレイの摂取でアナフィラキシーを呈した魚アレルギーの一例」 2) 野田成美ほか (大阪警察病院呼吸器内科) 「当院における呼気中一酸化窒素濃度 (FeNO) 測定症例のまとめ」 3) 阪中謙司ほか (橋本市民病院呼吸器内科) 「Asthma-COPD.Overlap Syndrome. での autopsy 例」 4) 井庭憲人ほか (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科) 「最重症喘息として紹介された声帯機能不全の 12 歳女児例」 5) 山崎晃嗣ほか (近畿大学医学部小児科) 「5 歳で実施した牛乳負荷試験にて消化管アレルギーが疑われた 1 男児例」 6) 柴田洋史ほか (京都大学医学部附属病院小児科) 「ミルク抗原除去により改善した乳児期重度胆汁うっ滞症の 1 例」 7) 山本容子 (近畿大学医学部奈良病院皮膚科) 「当科における Helicobacter pylori 除菌療法による薬疹の検討」 8) 進藤真久ほか (浜田医療センター皮膚科) 「持久性隆起性紅班の 1 例」 9) 奥田英右ほか (大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 皮膚科) 「成人 T 細胞白血病キャリアに生じ、後天性血友病を合併した重症結節性痒疹の一例」 <p>座長：山田秀和 (近畿大学医学部奈良病院皮膚科) 特別講演：秀 道広 (広島大学医歯薬保健学皮膚科学) 「血管性浮腫を生じる疾患の診断と治療～」</p>
<p>IV. 啓発活動事業 1. 第 22 回アレルギー週間 (1) 市民公開講座 in 奈良 日時：平成 28 年 2 月 6 日 (土) 場所：奈良県 (奈良市：秋篠音楽堂ならファミリー 6 階) 参加人数：126 名</p>	<p>市民公開講座・相談会 (患者等一般市民向け) テーマ「アレルギーの克服に向けて」 開催挨拶：東田有智 (日本アレルギー協会関西支部支部長) 司会：村木正人 (近畿大学医学部奈良病院呼吸器・アレルギー内科)</p> <p>第 1 部：羽白 高 (天理よろづ相談所病院呼吸器内科) 「ただの風邪？ 長引くセキにご用心～喘息と COPD の最新情報～」</p> <p>司会：南部光彦 (天理よろづ相談所病院小児科) 第 2 部：中農昌子 (国保中央病院小児科) 「食物アレルギーと上手なつきあい方」</p> <p>Q&A コーナー「いただいたご質問にお答えします」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 第12回滋賀アレルギーフォーラム 日時：平成28年2月11日(木) 場所：滋賀県(滋賀県立県民交流センター) 参加人数：116名</p>	<p>テーマ「アレルギーの病気を正しく知り、対応していくために」 司会：野々村和男(守山市民病院小児科) 第1部：有方雅彦(滋賀医科大学耳鼻咽喉科) 「今年のスギ花粉飛散予測、アレルゲン免疫療法について」 第2部：亀田 誠(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「子どもの気になるアレルギー～食物アレルギーとぜん息」 第3部：楠 隆(滋賀県立小児保健医療センター小児科) 「滋賀県の小児アレルギー疾患対策推進事業について」 第4部：しつもん(Q&A)の時間</p>
<p>(3) 市民公開講座 日時：平成28年2月14日(日) 場所：和歌山県(和歌山県民文化会館) 参加人数：46名</p>	<p>テーマ「アトピー・花粉症のセルフケア」 司会：古川福実(和歌山県立医科大学皮膚科学) 第1部：三木田直哉(和歌山県立医科大学皮膚科学) 「アトピー性皮膚炎のセルフケアを考える」 第2部：榎本雅夫(NPO法人日本健康増進機構理事長) 「花粉症のセルフケア」</p>
<p>(4) 市民公開講座 日時：平成28年2月21日(日) 場所：兵庫県(兵庫県民会館) 参加人数：117名</p>	<p>テーマ「治療について考えよう」 挨拶・司会：西村善博(神戸大学医学部附属病院呼吸器内科) 第1部：大西 尚(明石医療センター呼吸器内科) 「気管支喘息を正しく理解し、しっかり治療する」 第2部：岡藤郁夫(神戸市立医療センター中央市民病院小児科) 「食物アレルギーの治し方～小さなことからコツコツと～」 しつもん「Q&A」コーナー</p>
<p>(5) 市民公開講座 in 京都 日時：平成28年2月27日(土) 場所：京都府(メルパルク京都4階研修室3) 参加人数：45名</p>	<p>テーマ「アレルギーと上手く付き合うために」 司会：松本久子(京都大学医学部附属病院呼吸器内科) 第1部：亀田 誠(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター) 「子どものアレルギー疾患との上手な付き合い方」 第2部：安場広高(三菱京都病院呼吸器・アレルギー内科) 「鼻炎、副鼻腔炎とぜんそくの同時治療～一石三鳥のAirway Medicine」</p>
<p>(6) 市民公開講座 in 大阪 日時：平成28年2月28日(日) 場所：大阪府(朝日生命ホール) 参加人数：86名</p>	<p>テーマ「アレルギー疾患家庭での対応 喘息・食物アレルギー」 挨拶：東田有智(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科) 総合司会：東田有智(日本アレルギー協会関西支部支部長) 第1部：食物アレルギー 西田京子(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター医療技術部栄養管理室) 「食物アレルギー対応に役立つ栄養の知識」 住本真一(大阪赤十字病院小児科) 「どうしたらいいの？家庭でのアナフィラキシー対応」 第2部：喘息 佐野博幸(近畿大学医学部呼吸器・アレルギー内科) 「家庭で大事な喘息自己管理のポイント」 Q&Aコーナー「頂いた質問にお答えします」 テーマ「アレルギーの病気を正しく知り、対応していくために」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(7) 第 29 回日本医学会総会 2015 関西疾患啓発イベント 市民公開講座 日時：平成 27 年 4 月 5 日（日） 場所：神戸市（神戸国際会議場） 参加人数：438 名</p>	<p>テーマ「みんなで学ぼう 子どものぜん息・アレルギー」 挨拶：宮本昭正（日本アレルギー協会 理事長） 座長：東田有智（日本アレルギー協会関西支部 支部長） 講演 1：井上壽茂（住友病院小児科） 「小児ぜん息」 講演 2：片岡葉子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 「アトピー性皮膚炎」 講演 3：末廣 豊（大阪府立済生会中津病院免疫・アレルギー） 「食物アレルギー」 みんなで学ぼう「アレルギー体験ブース」 全体統括：亀田 誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 益子育代（東京都立小児総合医療センターアレルギーエドキュケーター）</p>
<p>2. 医師向け</p>	
<p>(1) 第 58 回気管支喘息勉強会（共催） 日時：平成 28 年 1 月 23 日（土） 場所：大阪府（ツイン 21MID タワービル 20 階） 参加人数：44 名</p>	<p>テーマ「若手が語るこれからの喘息治療」 司会：小野 厚（大阪府済生会泉尾病院） 村田卓士（むらた小児科） 講演 1：中川博之（株式会社ファーマシィ） 「小児アレルギーエドキュケーターとしての関わり」 講演 2：釣永雄希（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター） 「喘息診断・治療専門病院で勤務してわかったこと」 講演 3：田中裕也（神戸市立医療センター中央市民病院） 「小児の皮下免疫療法について」 特別講演：手塚純一郎（福岡市立こども病院） 「小児気管支喘息に残された課題」</p>
<p>(2) 第 17 回京都アレルギークロストーク（共催） 日時：平成 28 年 2 月 18 日（木） 場所：京都府（メルパルク京都） 参加人数：81 名</p>	<p>座長：加藤則人（京都府立医科大学大学院医学研究科皮膚科学） 特別講演 1：相原道子（横浜市立大学大学院医学研究科発達小児科学） 「掻痒性皮膚粘膜疾患における神経をターゲットにした新規治療薬の開発」 座長：平家俊男（京都大学大学院医学研究科発達小児科学） 特別講演 2：峯岸克行（徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター 病態ロテオゲノム分野）</p>
<p>(3) 第 22 回アレルギー週間学術講演会（共催） 日時：平成 28 年 2 月 25 日（木） 場所：和歌山県（ガーデンホテルハナヨ） 参加人数：12 名</p>	<p>テーマ～New strategy for Allergy in 2016～ 座長：古川福実（和歌山県立医科大学皮膚科） 演題 1：三木田直哉（和歌山県立医科大学皮膚科） 「最近の乾癬治療について」 演題 2：池田浩己（池田耳鼻いんこう科） 「アレルギー性鼻炎治療の現状」</p>
<p>3. 一般向け</p>	
<p>(1) 喘息児童の自然に触れ合う野外教室（共催） 平成 27 年 6 月～平成 27 年 11 月 日帰り又は 2 泊 3 日の日程で年 3 回実施</p>	<p>主催：大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科主任部長 亀田 誠 第 1 回：平成 27 年 6 月 1 日 大阪市立信太山青少年野外活動センター：参加児 18 名 第 2 回：平成 27 年 8 月 22 日～24 日 大阪府立青少年海洋センター：参加児 32 名 第 3 回：平成 27 年 11 月 30 日 大阪府立少年自然の家：参加児 32 名</p>

実施事業	概要
<p>(2) 栄養士のための大阪食物アレルギー研究会（共催） 日時：平成27年8月10日（月） 場所：大阪府（大阪市都島区民センター） 参加人数：358名</p>	<p>挨拶：小笠原 陸（栄養士のための大阪食物研究会 会長） 特別講演：伊藤浩明（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科） 「食物アレルギー対応のためのアレルゲンの知識」 質疑応答 オブザーバー 亀田 誠（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科） 西田京子（大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター栄養管理室） 住本真一（大阪赤十字病院小児科） 平口雪子（大阪府済生会中津病院小児科/免疫・アレルギーセンター）</p>
<p>V. その他（会議等） 第5回関西支部幹事会 日時：平成27年6月17日（水） 場所：ホテルグランヴィア20階 出席者：16名</p>	<p>主たる議題 1) 関西支部経理担当監事として末廣豊先生選出承認 2) 関西支部正会員入会への取り組み 3) 一般市民への医薬品名等非提示の確認 4) 支部内事業における事業費増加に対する検討 5) 第29回医学会総会 市民公開講座における報告、承認</p>

中国支部（支部長 宗田 良）

（敬称略）

実施事業	概要
<p>I. 研究会事業 医療従事者を対象の研究会 (1) 第11回中国・四国喘息研究フォーラム（後援） 日時：平成27年8月29日（土） 場所：ホテルグランヴィア岡山 4階フェニックス 参加者：約60名 (2) 第27回中国・四国臨床アレルギー研究会（共催） 日時：平成27年8月30日（日） 場所：岡山国際交流センター 8階イベントホール 参加人数：約90名 (3) 第9回岡山吸入療法研究会（共催） 日時：平成27年10月22日（木） 場所：ホテルグランヴィア岡山 3階クリスタル 参加人数：約110名</p>	<p>[特別講演1] 吉原重美（獨協医科大学医学部小児科学） 「小児気管支喘息治療薬の上手な使い方」 [特別講演2] 玉置 淳（東京女子医科大学内科学第一講座） 「喘息－COPD オーバーラップ症候群（ACOS）にどう対処するか？」 [一般演題] 15 演題 [特別話題] 池田政憲（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科小児急性疾患学講座） 「小児の食物アレルギーとアナフィラキシーへの緊急時対応」 [特別講演I] 大林浩幸（東濃中央クリニック） 「より効果的な患者吸入指導を目指して～医療連携構築のこころみ～」 [特別講演II] 橋本 修（日本大学医学部内科学系呼吸器内科学分野） 「喘息・COPDの最新の話題」</p>
<p>II. 研修会事業 医療従事者を対象の研修会 (1) 薬剤師研修会（共催） 日時：平成27年8月30日（日） 場所：岡山国際交流センター 8階イベントホール 受講者：約50名</p>	<p>第6回吸入療法のための連携推進研修会 司会：森 英樹（岡山赤十字病院薬剤部） 講師：谷本 安（国立病院機構南岡山医療センター） 「吸入指導の必要性和吸入療法の実践」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 薬剤師研修会 (共催) 日時：平成 28 年 2 月 28 日 (日) 場所：岡山国際交流センター 2 階国際会議場 受講者：約 50 名</p>	<p>第 7 回吸入療法のための連携推進研修会 司会：森 英樹 (岡山赤十字病院薬剤部) 講師：木村五郎 (国立病院機構南岡山医療センター) 「吸入指導の必要性と吸入療法の実践」</p>
<p>III. 講演会事業 医療従事者および一般市民を対象の講演会 公開講座 岡山アレルギーシンポジウム 2015 サマーセミナー (共催) 日時：平成 27 年 7 月 25 日 (土) 場所：国立病院機構南岡山医療センター 大会議室 参加人数：約 90 名</p>	<p>テーマ：「花粉症・喘息・食物アレルギーの新しい治療法」 —舌下免疫療法・減感作療法— 講演会：黒岡昌代 (国立病院機構南岡山医療センター看護部) 「アレルギー症状を正しい診断につなげるために」 —アレルギーエデュケーターの立場から— 赤木博文 (国立病院機構南岡山医療センター耳鼻咽喉科) 「舐めて治す、スギ花粉症の舌下免疫療法」 宮原信明 (岡山大学大学院保健学研究科検査技術科学分野 野生体情報科学領域) 「気管支喘息治療の今後の展望」—新しい治療を中心に— 討論会 個別相談</p>
<p>IV. 啓発活動事業 第 22 回アレルギー週間 (1) 島根県 日時：平成 28 年 2 月 13 日 (土) 場所：平成記念病院 参加人数：10 名 (2) 島根県 日時：平成 28 年 3 月 8 日 (火) 場所：島根大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科外来 参加人数：20 名 (3) 山口県 日時：平成 28 年 2 月 21 日 (日) 場所：JCHO 徳山中央病院本館 11 階 大会議室 参加人数：45 名</p>	<p>患者さんのためのスギ花粉症セミナー 講演：川内秀之 (島根大学医学部耳鼻咽喉科) 「2016 年のスギ花粉飛散について」 「スギ花粉アレルギーを用いた舌下免疫療法」 「アレルギー治療薬の上手な使い方」 患者さんのためのスギ花粉症セミナー 第一部： 森倉一朗 (島根大学医学部耳鼻咽喉科) 「2016 年のスギ花粉飛散について」 川内秀之 (島根大学医学部耳鼻咽喉科) 「アレルギー治療薬と舌下免疫療法薬の上手な使い方」 第二部： 荻野 敏 (大阪大学名誉教授) 「気をつけないといけない特殊な副鼻腔炎、喘息」 アレルギー週間の集い 2016 in 周南市民公開講座～こどものアレルギーについて考えよう～ 講演 1：長谷川真成 (山口県立総合医療センター小児科) 「ここがポイント！食物アレルギーへの対応」 講演 2：長谷川俊史 (山口大学大学院医学系研究科小児科学分野) 「こどものぜんそくについて正しく知ろう！」 [こどものアレルギー相談の時間]</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(4) 岡山県 日時：平成 28 年 2 月 28 日（日） 場所：岡山国際交流センター 2 階国際会議場 参加人数：121 名</p> <p>(5) 広島県 日時：平成 28 年 2 月 28 日（日） 場所：リーガロイヤルホテル広島 4 階ロイヤルホール 参加人数：252 名</p>	<p>アレルギー週間の集い 2016 県民公開講座「岡山アレルギー疾患講演会」 アレルギー治療の現状と適切な対応－ 2016 － 講演：谷本 安（国立病院機構南岡山医療センター） 「ぜん息の最新治療－将来期待される治療も含めて－」 菅井和子（国立病院機構福山医療センター小児科） 「知っておきたい食物アレルギー～いざという時に対応できるために～」 藤原愉高（国立病院機構南岡山医療センター皮膚科） 「基本に帰ろう！アトピー性皮膚炎」</p> <p>個別相談会 アレルギー週間の集い 2016 in 広島「アレルギーのみらい」 【第一部 アレルギーセミナー】 講演：高路 修（こうろ皮膚科） 「アトピー性皮膚炎－治療ガイドラインから－」 竹野幸夫（広島大学病院耳鼻咽喉科） 「鼻アレルギーと花粉症対策のポイント」 岡島宏易（JA 広島総合病院小児科） 「小児の気管支喘息について－発作がなければ治っていると誤解していませんか？－」 春田吉則（広島アレルギー呼吸器クリニック八丁堀） 「咳で困っていませんか？」 【第二部 ミニトークショー】</p>

四国支部（支部長 西岡安彦）

（敬称略）

実 施 事 業	概 要
<p>I. 講演会・講習会事業</p> <p>(1) 徳島膠原病・リウマチ県民講座 日時：平成 27 年 6 月 15 日 場所：徳島大学長井記念ホール 参加人数：300 名</p> <p>(2) Asthma Symposium 2015 日時：平成 27 年 6 月 30 日 場所：ホテルクレメント徳島 参加人数 55 名</p>	<p>講演 1：岸 潤（徳島大学呼吸器・膠原病内科） 「膠原病・リウマチ疾患の臓器症状」 講演 2：豊田優子（徳島大学呼吸器・膠原病内科） 「膠原病・リウマチ疾患の皮膚症状」 講演 3：山村佳子（徳島大学口腔内科） 「膠原病・リウマチ疾患の口腔症状」 講演 4：井原 香（徳島県健康増進課感染症・疾病対策室） 「行政における難病対策について」 講演 5：井上昌幸（徳島大学眼科） 「膠原病・リウマチ疾患の眼症状」 講演 6：宮田淳也（三好市立三野病院内科） 「膠原病・リウマチ疾患の関節症状」</p> <p>講演 1：河野徹也（かわの内科アレルギー科） 「喘息クイックチェックシートを活用した喘息診療」 講演 2：大串文隆（独立行政法人国立病院機構高知病院） 「喘息治療の現状」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>II. 啓発活動事業 アレルギー週間 (1) 徳島アレルギーフォーラム 2016 日時：平成 28 年 2 月 21 日 場所：徳島大学病院 参加人数：31 名</p> <p>(2) 香川アレルギーフォーラム 2016 日時：平成 28 年 2 月 21 日 場所：香川県社会福祉総合センター 参加人数：20 名</p> <p>(3) 高知アレルギーフォーラム 2016 日時：平成 28 年 2 月 21 日 場所：国立病院機構高知病院 参加人数：63 名</p>	<p>第一部：専門家の話を聞いてみよう 講演 1：苛原 誠（徳島大学病院小児科） 「食物アレルギーについて」 講演 2：木下勝久（きのした内科呼吸器クリニック） 「ぜんそくと上手に向き合い健康でいきいきした生活を」</p> <p>第二部：動画を見ながら学ぼう 講演 1：杉本真弓（徳島大学病院小児科） 「文部科学省作成による学校におけるアレルギー疾患 対応資料」を見て 講演 2：吾妻雅彦（徳島大学病院呼吸器・膠原病内科） 「舌下免疫療法」</p> <p>第三部：個別相談 講演 1：山本晃義（高松赤十字病院呼吸器内科） 「香川県の喘息の動向と最新の喘息治療」 講演 2：坂東弘基（高松赤十字病院呼吸器内科） 「成人気管支喘息について」</p> <p>第一部：アレルギーの予防と治療 講演 1：大西広志（高知大学医学部血液・呼吸器内科学） 「成人ぜんそくについて」 講演 2：小倉英郎（大西病院） 「食物アレルギー・最新情報」</p> <p>第二部：個別医療相談</p>

九州支部（支部長 西間三馨）

（敬称略）

実 施 事 業	概 要
<p>I. 研究助成事業 1. 空中花粉調査研究</p>	<p>1) 福岡市 2 ヶ所の耳鼻科医院において、問診表による花粉症発症状況調査。2 ヶ所の耳鼻科において、スギ花粉症患者受診数と花粉飛散量との経年関係検討</p> <p>2) 九州各県の大学耳鼻科における九州の空中花粉調査(28年目)</p> <p>3) 花粉情報 福岡県、九州各県花粉情報広報活動（28年目） （福岡県医師会、九州各県医師会と日本気象協会福岡本部との共同活動） 新聞、ラジオ、テレビ</p> <p>4) 日本列島の空中花粉分布調査（29年目） 全国 15 ヶ所で花粉を採取し、福岡病院で算定し、花粉地図、カレンダー作成</p>

実 施 事 業	概 要
<p>II. 啓発活動事業</p> <p>1. 第 22 回アレルギー週間（医師向け）</p> <p>(1) 福岡県（共催） 日時：平成 28 年 2 月 20 日（土） 場所：天神ビル 11 階 10 号会議室 参加人数：77 名</p> <p>(2) 佐賀県（共催） 日時：平成 28 年 2 月 4 日（木） 場所：マリトピア 3F「安土の間」 参加人数：50 名</p> <p>(3) 熊本県（共催） 日時：平成 28 年 2 月 3 日（水） 場所：ホテル日航熊本 5F「阿蘇」 参加人数：99 名</p> <p>(4) 大分県（共催） 日時：平成 28 年 3 月 12 日（土） 場所：ホルトホール大分 3F 大会議室 参加人数：65 名</p>	<p>(一部) 最近の話題、トピックスその I 座長：久保千春（国立大学法人九州大学総長） 講師：濱崎雄平（佐賀整肢学園からつ医療福祉センター副院長） 「小児気管支喘息の治療管理－GINA2014 改訂を踏まえて－」 古江増隆（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野教授） 「アトピー性皮膚科の痒みと最近の話題」</p> <p>(二部) 最近の話題、トピックスその II 座長：西間三馨（国立病院機構福岡病院名誉院長） 講師：興梠博次（熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学分野教授） 「呼吸器領域のアレルギー疾患における最近の話題」 黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授） 「耳鼻咽喉科のアレルギー疾患における最近の話題－鼻アレルギー診療ガイドライン 2016 年版改訂のポイント－」</p> <p>座長：松尾宗明（佐賀大学医学部小児科教授） 講師：島津倫太郎（佐賀大学医学部耳鼻咽喉科講師） 「胃酸逆流と気道・食道アレルギー」 田代宏樹（佐賀大学医学部呼吸器内科） 「HDM 誘導喘息マウスモデルにおける単球 IL-33 の役割」 溝口達弘（独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター小児科） 「佐賀大学病院小児科におけるアナフィラキシーでの受診者の実態について」</p> <p>座長：成澤 寛（佐賀大学医学部内科学皮膚科教授） 講師：山中恵一（三重大学大学院医学系研究科皮膚科学准教授） 「アトピー性皮膚炎と全身炎症」</p> <p>座長：興梠博次（熊本大学大学院生命科学研究部呼吸器内科学教授） 講師：出口秀治（熊本大学医学部附属病院呼吸器内科） 「吸入療法の指導法と評価：実演と実技」</p> <p>座長：尹 浩信（熊本大学大学院生命科学研究部皮膚病態治療再建学分野教授） 講師：藤田英樹（日本大学医学部皮膚科学分野准教授） 「アトピー性皮膚炎の病態から考える鑑別診断」</p> <p>座長：湯本英二（熊本大学大学院生命科学研究部耳鼻咽喉科・頭頸部外科教授） 講師：高橋宏尚（鷹の子病院耳鼻咽喉科副院長） 「鼻アレルギー最近の話題－花粉症の新しい治療－」</p> <p>座長：藤原作平（大分大学医学部皮膚科・形成外科学講座教授） 講師：千貫祐子（島根大学医学部皮膚科学教室講師） 「知っておきたい！経皮・経粘膜感作から始まる食物・薬剤アレルギー」</p> <p>座長：鈴木正志（大分大学医学部耳鼻咽喉科学講座教授） 講師：都築建三（兵庫医科大学耳鼻咽喉科准教授） 「アレルギー性鼻炎・慢性副鼻腔炎による嗅覚障害の診断」</p> <p>座長：宮崎英士（大分大学医学部地域医療学センター教授） 講師：尾長谷 靖（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学（第二内科）准教授） 「『咳嗽』の鑑別と治療～アレルギー、喘息をキーワードに」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(5) 鹿児島県（共催） 日時：平成 28 年 2 月 25 日（木） 場所：城山観光ホテル 2F ロイヤルガーデン 参加人数：75 名</p>	<p>座長：河野嘉文（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科学教授） 講師：田上あさ子（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科呼吸器内科学） 「コントロール不良喘息へのアプローチ」 今給黎 亮（県立大島病院小児科） 「食物アレルギーに対する経口免疫療法」 下川充芳（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科皮膚疾患学） 「重症薬疹」 座長：黒野祐一（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教授） 講師：岡本美孝（千葉大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教授） 「上気道から診た One airway、one disease」</p>
<p>2. その他の医師向け</p> <p>(1) 第 15 回長崎 Asthma 研究会（共催） 日時：平成 27 年 6 月 23 日（火） 場所：ホテルニュー長崎 3F 鳳凰閣 参加人数：68 名</p>	<p>座長：尾長谷 靖（長崎大学病院第二内科准教授） 講師：深堀 範（佐世保市立総合病院呼吸器内科医長） 「咳嗽の鑑別と治療について」 座長：河野 茂（長崎大学副学長・理事） 講師：松永和人（和歌山県立医科大学第三内科学講座准教授） 「喘息治療の進歩と今後の課題」</p>
<p>3. 一般向け</p> <p>(1) 福岡市開催（主催） 日時：平成 28 年 2 月 21 日（日） 場所：天神ビル 11F 10 号会議室 参加人数：約 120 名</p>	<p>第 22 回アレルギー週間記念講演会 ーアレルギーのポイント・日常生活の留意点ー 司会：久保千春（国立大学法人九州大学総長） 西間三馨（日本アレルギー協会九州支部長） 講師：宗 信夫（宗耳鼻咽喉科医院院長） 「花粉症」 岩永知秋（国立病院機構福岡病院院長） 「喘息：成人」 小田嶋 博（国立病院機構福岡病院副院長） 「喘息：小児」 久保千春（国立大学法人九州大学総長） 「アレルギーとストレス」 内尾英一（福岡大学医学部眼科教授） 「アレルギー性結膜炎」 中原剛士（九州大学大学院医学研究院・医学部皮膚科体表感知学准教授） 「アトピー性皮膚炎」 柴田留美子（国立病院機構福岡病院小児科、中村学園大学食物栄養科学科客員教授） 「食物アレルギー」 質問・実習コーナー 質問コーナー：アレルギー全般について 実習コーナー 金子恵美（国立病院機構福岡病院小児アレルギーエドクター、小児看護専門看護師） 「スキンケアと吸入方法の実際」</p>

実 施 事 業	概 要
<p>(2) 鹿児島市開催（共催） 日時：平成 28 年 3 月 5 日（土） 場所：キャンセ 7F 参加人数：35 名</p> <p>(3) 県民公開医療シンポジウム（後援） 日時：平成 27 年 8 月 1 日（土） 場所：えーるピア久留米 参加人数：約 150 名</p> <p>(4) 喘息市民公開講座（共催） 日時：平成 27 年 8 月 2 日（日） 場所：レンブラントホテル大分 2F 二豊の間 参加人数：69 名</p> <p>(5) アレルギー談話室</p>	<p>第 9 回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座 in 鹿児島 講師：大堀純一郎（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「知っておくと役に立つ！補聴器の知識あれこれ」 原田みづえ（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「めまい・ふらつきにどう対処する？」 宮之原郁代（鹿児島大学病院耳鼻咽喉科） 「アレルギー性鼻炎の最新治療戦略」</p> <p>司会：塚崎恵子（福岡市立病院機構福岡市民病院看護部長） 座長：平 祐二（医療法人原三信病院理事長・院長） 壁村哲平（福岡市医師会成人病センター院長） 講師：名嘉真 武國（久留米大学医学部皮膚科学講座教授） 「意外と知られていない食物・薬物アレルギーについて」 手塚純一郎（福岡市立病院機構福岡市立こども病院総合診療科） 「食物アレルギーの予防と治療」 星子美智子（久留米市保健所所長） 「知っておきたい機能性表示食品」</p> <p>講師：福島喜代康（日本赤十字社長崎原爆諫早病院副院長） 「かぜと喘息」～最新の診断と治療について～</p> <p>1903 回（平成 28 年 3 月 27 日放送）</p>